

SUZUKA RIVER

 国土交通省 三重河川国道事務所 鈴鹿出張所

内部川でのHOTな話題

★内部川矢矧橋上流の旧堤が撤去され、川幅が広がりました。

内部川の矢矧橋上流の旧堤が撤去され、川幅が広がりました。今後は、下流の旧堤も撤去され、いよいよ新矢矧橋の新設工事が始まります。そこで、今回は、内部地区連合自治会長及び、現場からの声の取材を行いました。



工事開始前



工事開始後

★今回の工事に伴い、内部地区連合自治会 堀連合自治会長にお話をお伺いしました。

内部地区の長年の悲願であった内部川の中堤撤去が行われ、また矢矧橋架替工事にも着手していただき内部地区住民の喜びは何にもまして大きく、我々自治会関係者も本当に喜んでおります。

経済不況の中でもあり感謝しております。

国土交通省関係皆様の地域に対しての心遣いなど、我々に少しでも協力できることがあればと思っています。

今回のこの工事ですが、左岸から見ると景観が変わった感じです。すばらしい環境にしていただき本当に有り難うございます。重ねてお礼申し上げます。

四日市市内部地区連合自治会

会長 堀 保



現場代理人 保田 浩史

引き続き、現場の声をお送りいたします。

Q1：何の工事をしたのですか？

A1：この箇所は、新堤防があるのに旧堤防が残されており、旧堤防を掘削し、その箇所を掘下げました。また、新堤防の補強の為、腹付け盛土を行い堤防天端を舗装してホコリ等が飛ばないようにします。

Q2：工事中に苦労したことは何ですか？

A2：7月に降雨が多く施工に遅れが生まれました。特に印象に残っていることは、10月7日の台風18号の急接近の時に、一昼夜腹付け盛土面を400mシートで覆い新堤防の保護を行った結果、水害事故もなく地元住民の方から喜ばれたことが大変嬉しかったです。しかし、その後も降雨が多く施工が困難でした。

Q3：今後の工事の予定を教えてください？

A3：矢矧橋より下流側についても腹付け盛土、舗装が残ってます。その上、新矢矧橋の工事のための左岸の道路の付け替え工事を新年より行います。

また、内部川2.4kp付近にて災害で壊れた法覆護岸の復旧工事が残っています。

ありがとうございました。

現場の声は、信藤建設（株）の保田さんと須川さんでした。

工事完了まであと少しです。事故のないように頑張ってください。

なお、取材は、今年の12月現在です。



監理技術者 須川 泰弘

河川はゴミ捨て場ではありません！！

最近、堤防天端、法面、高水敷等にゴミ等の不法投棄が増えています。鈴鹿出張所では、監視カメラ、河川巡視等で不法投棄対策を行っていますが、一向に減る気配はありません。

鈴鹿出張所では、不法投棄を発見するたびに、警告看板、ゴミ等の回収を行っていますが、そのたびに皆さんの貴重な税金を使ってゴミ等を処分しています。

皆さん、河川への不法投棄はやめましょう！



河川に捨てられた不法投棄物

※鈴鹿川・内部川・安楽川・派川に関することについてご意見やご要望がありましたら下記の連絡先までお願いします。

所在地（鈴鹿出張所）

〒510-0874

四日市市河原田町1962-2

（鈴鹿橋（旧23号線）より東側堤防沿い）

○ お問い合わせ

電話 059-345-5593

FAX 059-346-4907

○ 国土交通省三重河川国道事務所のホームページ

・ <http://www.cbr.mlit.go.jp/mie/index.html>

